01 法人向けサービス案内

# AI開発ブートキャンプ 法人向けサービス案内

AIで作ったものを、確かめて次へ進める人を社内に。自社業務の小さな題材で、要件の説明、AIとの試作、検算、引き継ぎを学ぶ2日間です。試作の結果と残る課題を説明し、実務で使うために何を確認・整備するかを相談できる担当者を育てます。営業企画、店舗運営、業務改善などの担当者や部門責任者が対象で、プログラミングの経験は要りません。

## どんな業務に向いているか

たとえば、毎週の店舗別売上を表計算でまとめている担当者が、架空の売上CSVから店舗ごとの合計を出す試作品を作ります。入力の誤りを見つけ、手計算と比べ、別の人も起動できる手順を残します。業務時間の削減は、研修後に利用条件を整えてから測ります。

入力、処理のルール、正しい出力を説明できる業務に向いています。テーマは1人1つ、必須機能は最大3個です。

## 参加を決める前に

- 参加者本人が、その業務の手順と「正しい結果」を説明できる
- 会社が承認したMacと本人用アカウントを用意し、事前準備と2日間の受講時間を確保できる
- 実データを持ち込まず、架空の入力と手計算で試せる題材を選べる
- 研修後に、試作の結果と残課題を社内で検討する担当者がいる

外部サービスへの自動送信、決済、ログイン、アプリにAIを組み込む機能は、標準研修の対象外です。題材を小さく切り出せるか、申し込み前に一緒に確認します。

## 画面と一緒に、確認結果を持ち帰る

店舗別売上の完成見本では、架空の明細3件を読み込みます。東京1,500円と大阪3,000円を足した4,500円が画面の合計と一致するか、参加者が手計算で確認します。続いて入力をわざと間違え、エラーを見て修正できるかを試します。引き継ぐときは「確認したこと」「確認していないこと」「実務利用の前に確認すること」を分けて説明します。会社には次の開発投資を判断する材料が残ります。

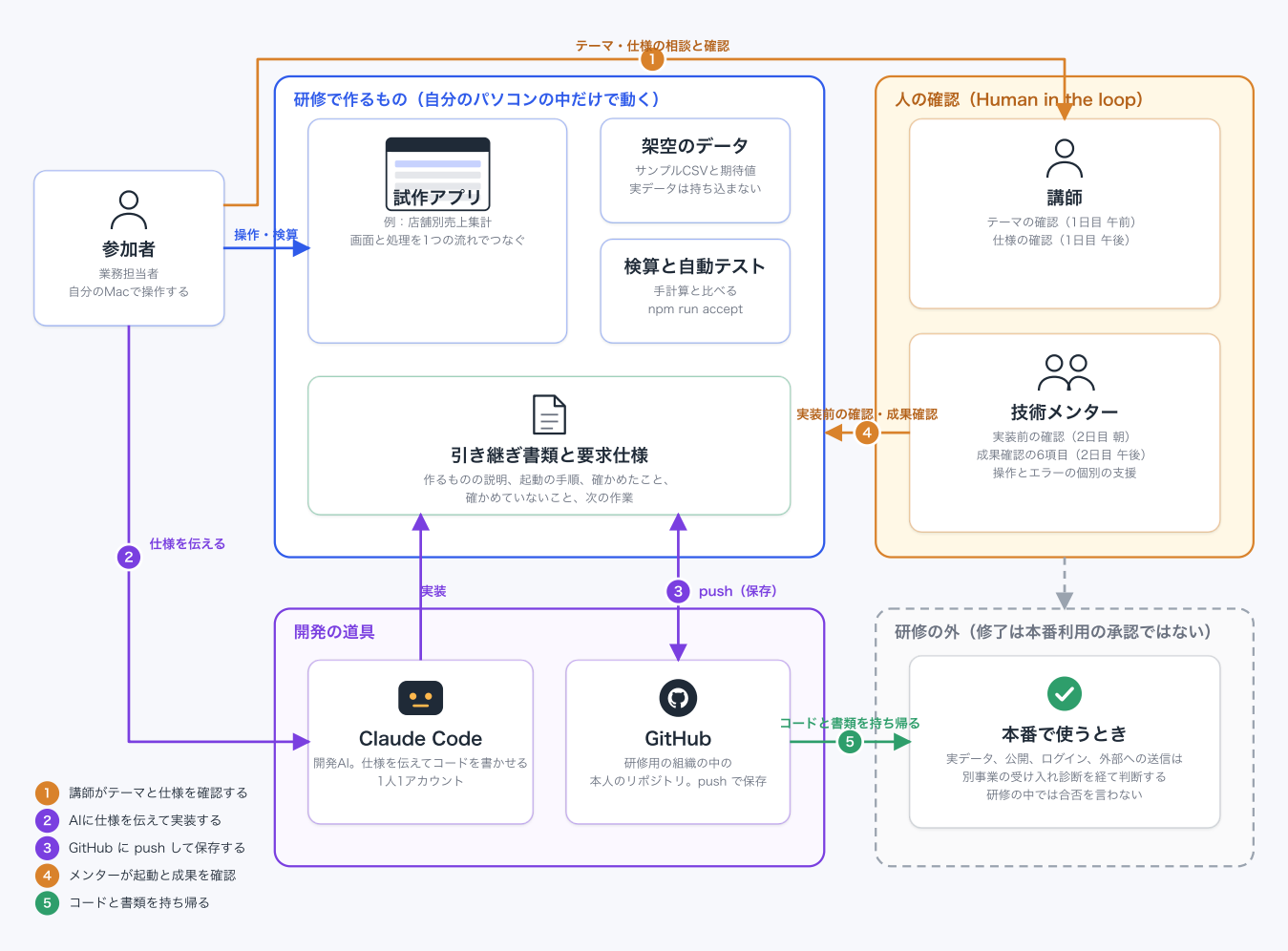
部品の修正通知や、AIから予定外の権限・外部送信を求められた場面も、教材のケースで考えます。作業を止めて確かめること、社内の誰へ相談するかを練習し、既存の引き継ぎ書類に残します。

## 2日間で取り組むこと

1日目は業務を1つに絞り、架空のデータで操作と検算を練習し、仕様と最初の処理を作ります。2日目は、画面、処理、データをつなぎ、誤った入力の確認と引き継ぎ、成果の説明を仕上げます。店舗別の売上集計など、入力と正解を説明できる題材を、講師と事前に選びます。

進行の途中に、テーマの確認、仕様の確認、実装前の確認があり、最後に成果確認があります。講師と技術メンターが、進み具合を見ながら支えます。

研修の中で動くものと、人の確認の関係は次の図のとおりです。




## 開催概要と料金

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 形式・時間 | 1社4〜6名の対面研修。2日間、各9:00〜17:30、休憩を除き計14時間 |
| 受講料 | 1名28万円（税別）。4名112万円、5名140万円、6名168万円 |
| 含むもの | 講師、技術メンター、教材、ひな型（テンプレート）、事前の環境構築会（パソコンの準備を一緒に確かめる会）、成果の評価 |
| 事後支援 | 研修の後14日間（暦日）、1人あわせて60分まで相談できます（再評価1回を含みます）。このほかに、会社ごとに業務への当てはめを相談する時間（適用相談）を30分、1回とります |
| 別途費用 | 参加者のAIツール（参加者ごとの有料プラン）、会場（貴社の会議室が標準です。当社が手配する場合は実費）、交通、宿泊、食事。負担はお見積りに明記します |
| お支払い | お支払いの方法と期日、キャンセルと変更の扱いは、お見積りと一緒にお示しします |
| 事前準備の目安 | パソコンとツールの準備45〜60分、環境構築会60分、テーマの下書き30〜45分 |

| 項目 | 内容 |
| --- | --- |
| 必要な環境 | 会社が承認したMacと、受講者ご本人に割り当てたアカウント。Mac のご用意が難しい方には、貸出用の Mac を2台までご用意します。研修用の GitHub の組織は当社が用意します |

### 補助金・助成金の活用をご検討の企業へ

人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）により、受講企業の費用負担を軽減できる場合があります。中小企業で税別受講料28万円の全額が対象経費と認められ、経費助成率75%が適用された場合、助成21万円、受講料部分の負担7万円／名となる計算例です。4名では税別112万円に対し助成84万円、受講料部分の負担28万円です。

この例に消費税・別途費用・賃金助成は含めていません。対象企業・受講者の職務・訓練内容などの個別審査があり、支給を保証するものではありません。受講料は助成金の有無で変わらず、契約どおり全額を先にお支払いいただきます。助成金は訓練終了後の申請・審査を経て支給されます。

計画届は原則として研修開始の6か月前から1か月前までの提出が必要です。契約前に担当者へお知らせいただき、貴社から労働局または社会保険労務士へ適用条件をご確認ください。申請は受講企業が行い、当社はカリキュラム、出席・受講証明などの資料を提供します。

制度の詳細は厚生労働省の公式案内と詳細パンフレットでご確認ください。

## 持ち帰る成果と修了の条件

業務の整理、要求仕様（作るものの条件を書いた書類）、試作したプログラムとテスト、架空データ、起動と操作の手順、残っている課題、1人ずつの評価の書面を持ち帰ります。研修のあとに続けて契約をしなくても、持ち帰ったものは手元に残り、学習を続けられます。教材やひな型を使える範囲は、お見積りと一緒にお示しします。

修了には、実受講時間12.6時間以上（14時間の90%）と、2日目に行う成果確認の6項目すべての達成が必要です。

| 成果確認の項目 | 達成の目安 |
| --- | --- |
| 1 説明できる | 正常な入力、誤った入力、ぎりぎりの入力での結果を、自分の言葉で説明できる |
| 2 別の環境で起動できる | 保存先から取り直したものを、起動の説明書だけを見て動かせる |
| 3 検算が合う | 主な流れの結果が、手で計算した値と一致する |
| 4 自動の確認が通る | 研修用の自動の確認が成功する |
| 5 引き継げる | 引き継ぎの書類（11項目）を空欄なしで書き、未完了のこと、次の作業、制約が分かる |
| 6 秘密と情報の扱い | 実データや機密を持ち込まず、秘密の値が保存先にも履歴にも残っていない |

達成できなかった項目は評価の書面でお伝えします。研修の後の相談で補い、再評価を1回受けられます。すべてのテーマ・機能の完成を保証するものではありません。

修了した方は研修の後30日以内に、研修で作ったアプリ1つについて、本番で使うための受け入れの診断（AI受け入れサービスの通常診断）を無料で受けられます。再評価で修了した場合は、再評価日から30日以内です。無料の範囲は通常診断で、改修や運用は含みません。

研修で作る試作品は各自のパソコンの中で動かして確かめます。実際のデータで使うこと、社内へ配ること、本番で公開して運用することには、追加の設計と確認が要ります。本番で使うための受け入れの確認は、別にご相談・お見積りとなります。自動で契約や課金が始まることはありません。

## よくあるご質問

### プログラミングの経験がなくても参加できますか

できます。プログラムを書くのはAIです。目的の整理と、結果が正しいかの確認を、参加者が行います。

### 実際の業務データは使えますか

研修では完全な架空データだけを使います。顧客・従業員の情報や、実際の契約・売上のデータは持ち込みません。

### AIツールの費用は含まれますか

含まれません。参加者ごとに、有料プランを研修の月だけご契約ください。手続きは事務局がご案内します。負担する方はお見積りに明記します。

環境構築会の日にも有効な利用権が必要です。月をまたぐ場合は、契約期間・追加費用・負担をお見積り前に確認し、合意します。

### 動かなかった場合は、修了できませんか

修了には、実受講時間12.6時間以上と、成果確認の6項目すべての達成が必要です。達成できなかった項目は研修の後の相談で補えます。研修の後14日間（暦日）、1人あわせて60分まで相談でき、再評価1回を含みます。

### 作ったものを、そのまま業務で使えますか

試作品は各自のパソコンの中で動かして確かめるものです。本番で使うには、追加の設計と確認が要ります。別途ご相談・お見積りとなります。

### 検査を通れば、本番で安全に使えますか

研修の検査は決めた入力や部品など限られた範囲を確認します。通ったことだけでは、本番での安全性は判断できません。研修では確認した範囲と残る課題を整理し、実務利用に必要な確認を相談する材料を作ります。

## 受講のご相談

現在は受講相談を受け付けています。一般販売の開始日は未定です。担当者への返信、またはユニメディアの総合窓口の「その他サービスの詳細・見積について」から、研修名・担当職務・予定人数・希望時期・題材をお知らせください。

助成金をご検討の場合は契約前にお知らせください。条件と申請期限は料金欄をご覧ください。

株式会社ユニメディア